

■ 目次

全体コンセプト	1
敷地概要、関係法令一覧	2
建築物概要覧	3
配置計画	4
グラウンド計画	5
意匠計画	6
構造計画	7
設備計画	8
基本計画図：クラブハウス棟	9
基本計画図：室内練習場棟、管理棟、トイレ棟	10

躍動感あふれる新たな屋外スポーツ拠点を目指して

新たな屋外スポーツの核を生み出すことで、既存の施設と連携しながら、「スポーツランドみやざき」のブランド力の向上、観光振興、競技力向上を目指す躍動的な屋外型トレーニングセンターを実現します。

躍動感あふれる新たな屋外スポーツ拠点の実現に向けて、以下の3つのポイントを軸に施設を整備します。

- (1) **トップアスリートの合宿を誘致できる**
高品質なグラウンド、クラブハウス等の実現
- (2) 最適な施設配置計画により、
周辺施設と効率的な連携運用の実現
- (3) **県産材等の利用やスポーツとICTの融合も視野に入れた**
県民に親しまれる施設の実現



鳥瞰全体イメージ



クラブハウスイメージ



室内練習場イメージ



室内練習場内部イメージ



木廊周りイメージ

敷地概要

地名地番	宮崎県宮崎市山崎町浜山415番87、415番116	
用途地域	市街化調整区域	
防火地域	防火地域指定なし	
その他区域指定	都市計画公園阿波岐原森林公園内（22条区域外）	
指定容積率	200 %	
指定建蔽率	70 %	
接道	敷地の接道なし※建築審査会にて接道了承の取得予定	

敷地面積(本計画により敷地分割)

敷地面積(計画通知に記載の本計画敷地面積)	65,398.69 m ²
-----------------------	--------------------------

全願の確認済証（計画変更）	H29 確認建築宮崎市建00058号	
前願敷地面積	1,235,465.14 m ²	
分割残側敷地面積	1,170,066.45 m ²	

敷地の集団規定

分割残側建蔽率	70%	市街化調整区域における形態規制より
分割残側容積率	200%	市街化調整区域における形態規制より
隣地斜線 勾配係数・立上り高さ	1.25/20m	市街化調整区域における形態規制より
道路車線 勾配係数・適用距離	1.5/0 m	市街化調整区域における形態規制より

建築物

棟数	9棟	別紙.建物概要一覧による
主要用途	スポーツの練習場	上記すべての棟の用途が用途上不可分の関係性にある。

関連法令

地区計画	なし	
重点景観形成地区	一ツ葉リゾート地区重点景観形成地区（届出対象）	
宮崎市福祉のまちづくり条例	1000㎡以上の体育施設 特定施設 に該当	
土壤汚染対策法	対象（3,000平方メートル以上の土地の掘削）	
文化財保護法	試掘調査対象外	
屋外広告物条例	規制地域第1種	
駐車場附置義務条例	対象外	
駐車場法	対象外 技術的基準への自主適合必要	
緑のまちづくり条例	対象外（都市公園内のため）	
CASBEE	届出義務なし	
宅地造成工事規制区域	なし	



計画建物一覧

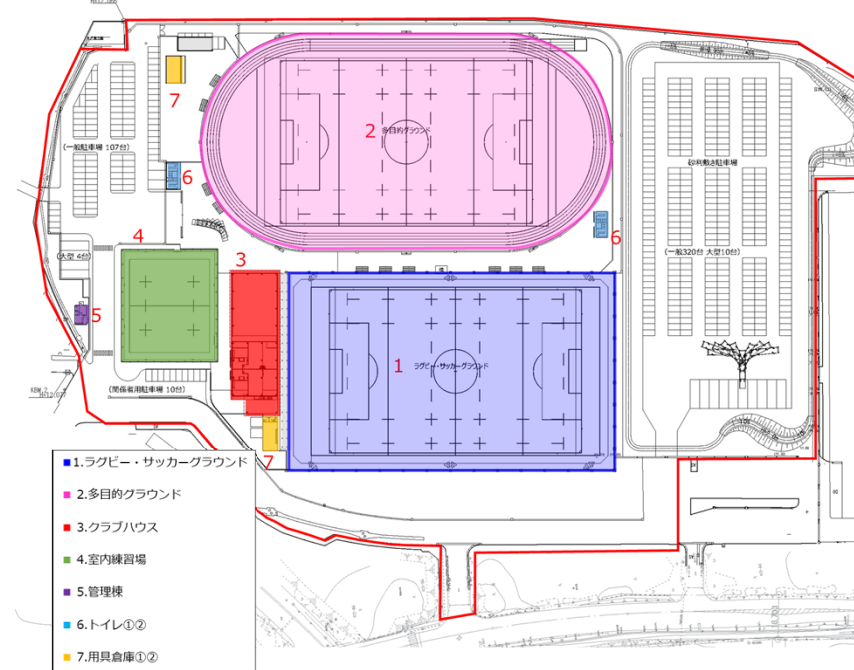
棟番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9
棟名称	クラブハウス	木廊	室内練習場	トイレ①	トイレ②	管理棟	メンテナンス車両庫	用具倉庫①	用具倉庫②
用途	スポーツの練習場 (08380)	スポーツの練習場 (08380)	スポーツの練習場 (08380)	公衆便所 (08310)	公衆便所 (08310)	事務所 (08470)	自動車車庫 (08490)	倉庫業を営まない倉庫 (08520)	倉庫業を営まない倉庫 (08520)
法6条	特殊建築物 (法6条1項1号建築物)	特殊建築物 (法6条1項1号建築物)	特殊建築物 (法6条1項1号建築物)	特殊建築物でない	特殊建築物でない	特殊建築物でない	特殊建築物 (法6条1項1号建築物)	特殊建築物 (法6条1項1号建築物)	特殊建築物 (法6条1項1号建築物)
法84条の2	-	簡易な構造の建築物 (開放的簡易建築物)	簡易な構造の建築物 (膜構造建築物)	-	-	-	-	-	-
耐火要求	準耐火建築物	その他建築物	その他建築物	その他建築物	その他建築物	その他建築物	その他建築物	その他建築物	その他建築物
工事種別	新築	新築	新築	新築	新築	新築	新築	新築	新築
構造・規模	S造 0+2	木造 0+1	S造 0+1	木造 0+1	木造 0+1	木造 0+1	S造 0+1	S造 0+1	S造 0+1
基礎地業	杭基礎	直接基礎	杭基礎	直接基礎	直接基礎	直接基礎	直接基礎	直接基礎	直接基礎
建築面積	1068.34㎡	136.08㎡	1851.39㎡	62.79㎡	62.79㎡	38.40㎡	77.00㎡	84.00㎡	70.00㎡
延べ面積	1348.88㎡	136.08㎡	1851.39㎡	62.79㎡	62.79㎡	38.40㎡	77.00㎡	84.00㎡	70.00㎡

【全体】

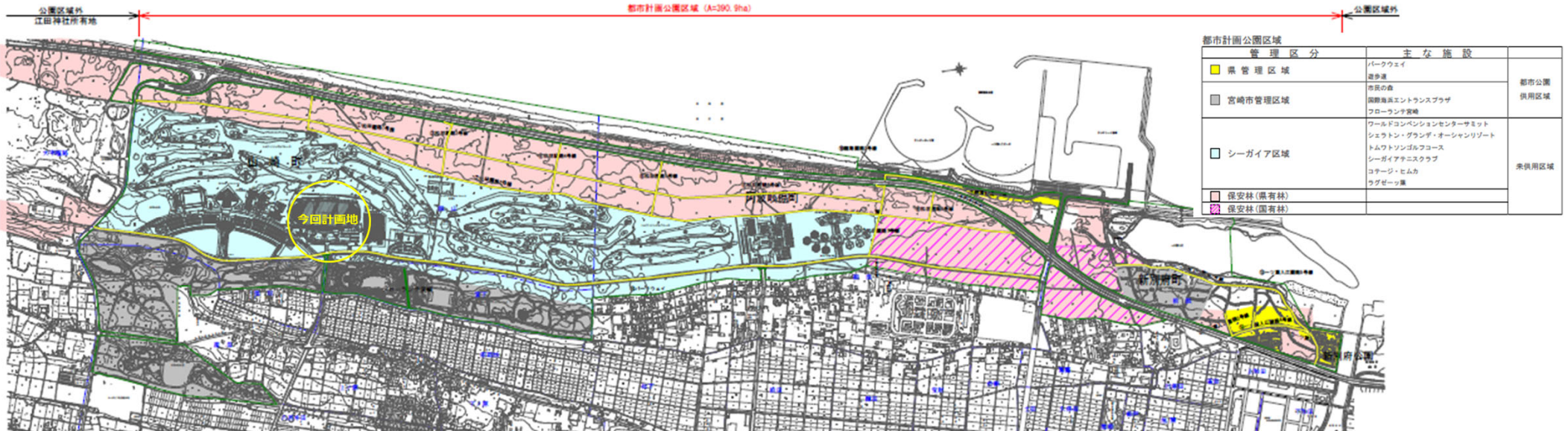
建築面積 3450.79㎡ 建蔽率 5.28%
 延べ面積 3731.33㎡ 容積率 5.71%

※法：建築基準法

施設一覧



計画地立地状況



■ アクセス動線の最短化によりプレー時間を最大限確保

- ・プレー前の基点となるクラブハウスをアプローチエリアに配置し、駐車場から最短のアクセスにすることで移動にかかる時間を低減します。
- ・クラブハウスからはラグビー・サッカーグラウンドに直結し、練習の合間やミーティングの際にも最短で行き来が可能です。
- ・室内練習場とクラブハウスは一体利用可能な隣接配置にします。建物周囲はスパイクのままグラウンド迄移動可能な人工芝とします。

■ 最高品質かつ競技に最適な方位のグラウンド

ラグビー・サッカーグラウンド

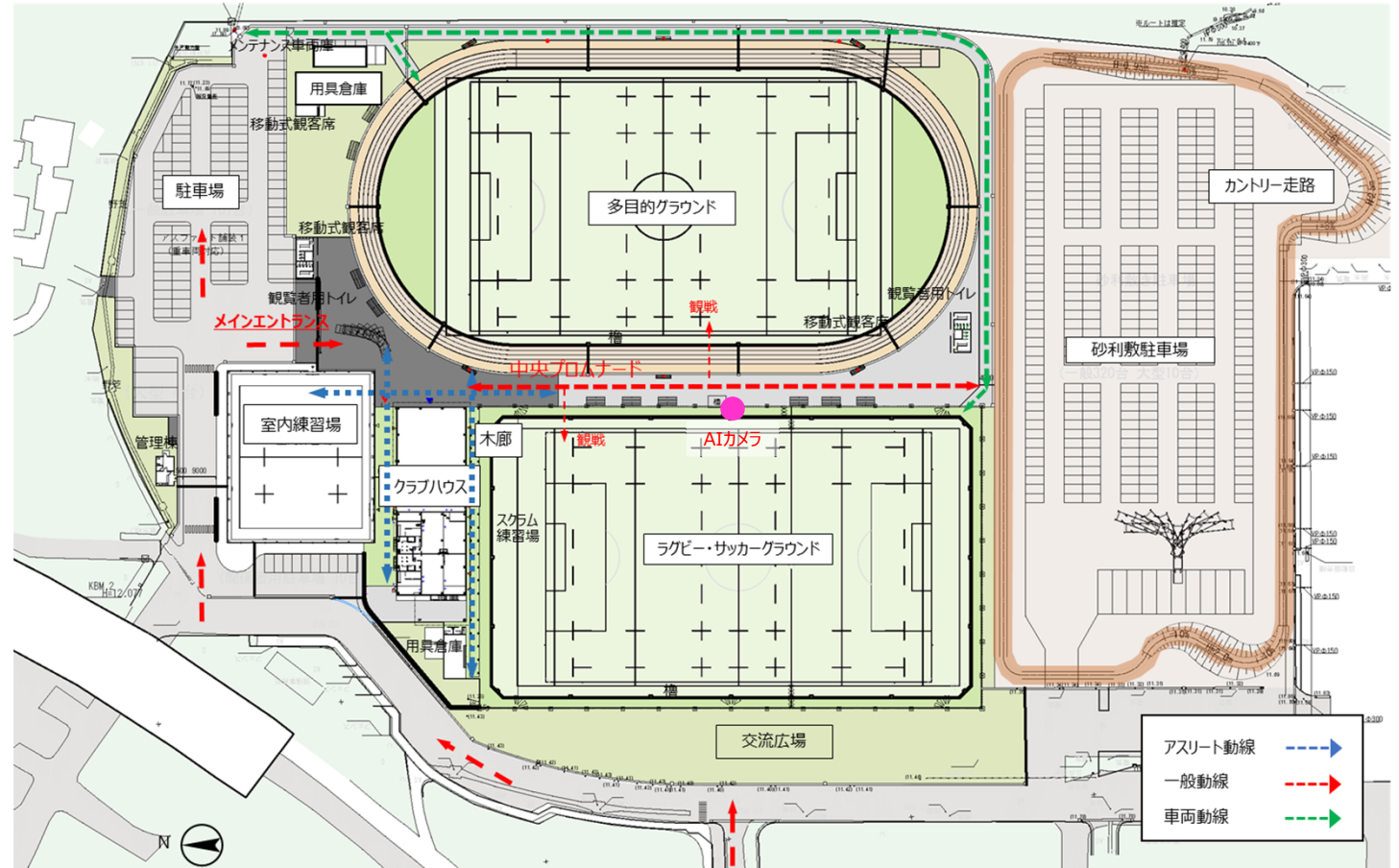
- ・天然芝の良好な育成条件を確保するため、保安林から20m以上離し日照条件や通風が均一となる西側エリア中央に配置します。
- ・ラグビー・サッカーグラウンドと多目的グラウンドが共に、プレー方向に対して等価な日差条件となる南北長辺のグラウンド配置とします。
(南北長辺配置はJFA「スタジアム標準」でも規定)

■ AIカメラ

- ・ラグビー・サッカーグラウンドにAIカメラ（1か所）を設置し、クラブハウス内の専用PCにおいて、練習状況および試合等の状況を記録、配信できるシステムを構築します。

多目的グラウンド

- ・天然芝に比べ、保安林による湿気・日陰の影響を受け難く、日照通風環境の変化に強いハイブリッド芝の多目的グラウンドを保安林側に配置します。
- ・計画地の卓越風は夏季が東、冬季が西のため、陸上競技における追風参考記録を減らすためトラックの長辺方向を卓越風に直行させた南北方向に計画します。



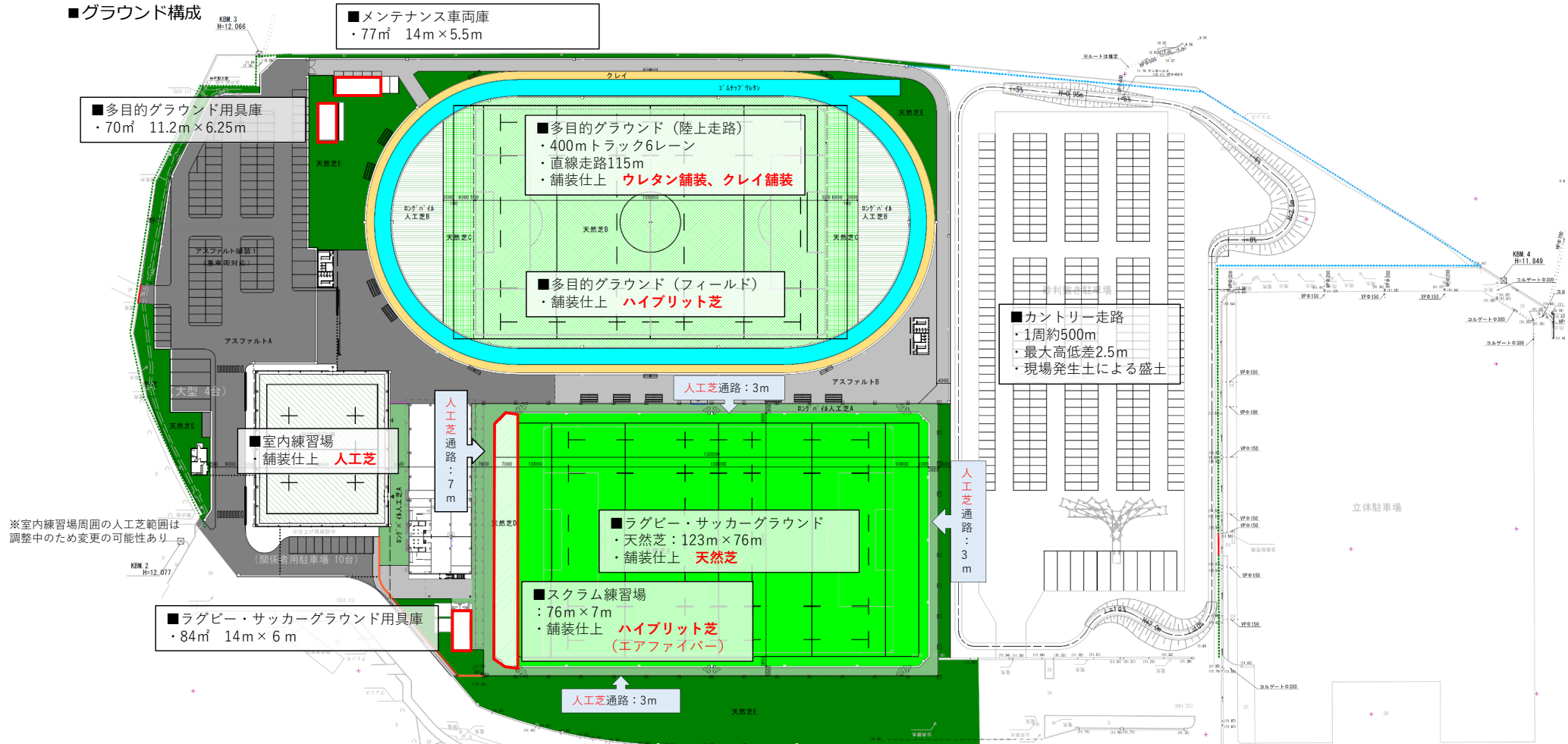
■ アスリート・観客を全てのフィールドにつなぐ中央プロムナード

- ・駐車場、クラブハウスのあるアプローチエリアと2つのグラウンドをつなぐ中央プロムナードを設けます。プロムナードには移動式観客席、トイレを配置し、競技者・観客がどの競技・フィールドに対してもスムーズにアプローチ・観戦が可能な動線を確保します。
- ・パラアスリート・帯同者もメインエントランスの車寄せから最短でフラットに移動可能な計画とし、移動の負担を軽減することで競技に集中できる環境を整えます。
各トイレはどなたでも利用できるユニバーサルトイレも設けています。

■ グラウンドの品質を保ち続けるメンテナンス動線と拡張利用

- ・駐車場から延長する形で敷地外周部にメンテナンス車路を設けます。メンテナンス車両庫は駐車場に近接し設け、グラウンドの利用を妨げることなく必要資材の補充が可能です。
- ・メンテナンス通路は、大会競技など観客数が増えた場合には観覧スペースとしても活用が可能です。

■グラウンド構成



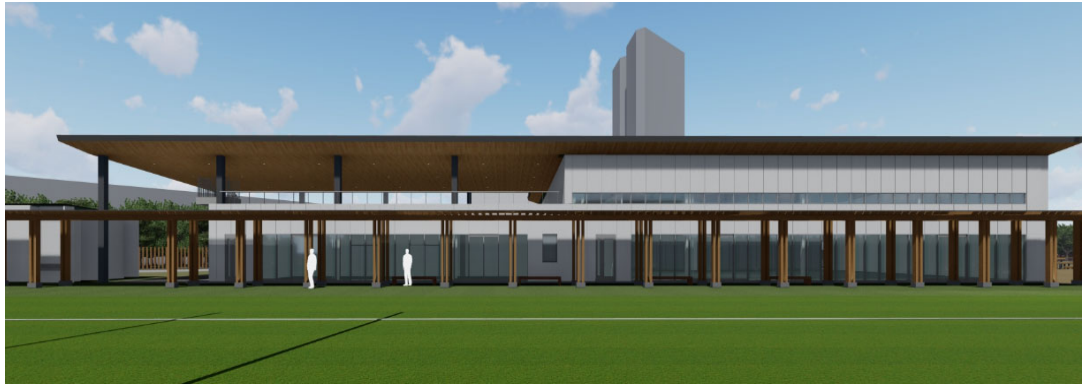
数量表

名称	内容	単位	数量	備考
天然芝A	フィールド	m ²	9,333.9	3g ビー・チカカ場
天然芝B	フィールド（特殊人工芝繊維打込）	m ²	7,923.1	播き芝 陸上トラック内側4m
天然芝C	フィールド	m ²	1,202.7	播き芝 陸上トラックABゾーン
天然芝D	フィールド（2774in-敷設）	m ²	521.1	スクラム練習場
ロングヘア人工芝A	t=65mm	m ²	1,698.3	3g ビー・チカカ場外周等
ロングヘア人工芝B	t=65mm	m ²	1,300.2	陸上トラックABゾーン
ロングヘア人工芝C	t=65mm（緩衝材有）	m ²	1,688.0	室内練習場
3'x6'x3' クレイ	n-フタトシ-3AF-2（WA認証品）	m ²	2,180.6	陸上トラック内側4m
クレイ	真砂土	m ²	1,020.2	陸上トラック外側2m
天然芝E	野芝	m ²	5,753.2	
アスファルトA	開粒度アスコン	m ²	6,074.8	大型車対応[5+200]
アスファルトB	開粒度アスコン	m ²	2,721.8	小型車対応[5+150]

景観に配慮しつつ、スポーツ施設としての躍動感あふれる新たな風景をデザインします

トップチームの細かな要望に応える、「スピード」「シェア」「可変性」を兼ね備えた施設を構築します

クラブハウス



<デザインのポイント>

- ◆ 防風林やグラウンドの水平性と調和を図る片流れの一枚屋根により、力強さを表現
- ◆ アスリートの活動をフィールドへと連続させる開放的なガラスファサード
- ◆ オリパラレガシー材を再利用した回廊、有機的に繋がる木柵により躍動感を表現

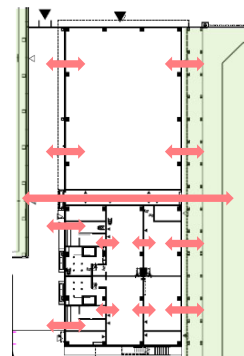
<機能のポイント>

- ◆ 日本代表からアマチュアまでフレキシブルに利用できる諸室構成

- ・ 一体利用時
(代表チーム・大人数の利用)
- ・ 分割利用時
(試合・男女での利用)



- ◆ 選手の円滑な移動をサポート



・ 各室を直接行き来できる平面計画

ロッカールームから水廻りやミーティングルームに直接出入りできる計画

・ 屋内練習場、グラウンドを繋ぐ動線

練習場所の変更時の移動時間を最短とする計画で、選手のトレーニング効率を向上

室内練習場



<デザインのポイント>

トップアスリートが利用する施設のエントランスの構えとして相応しい、格式高い外観デザイン

<機能のポイント>

グラウンドをイメージしたラインを計画し、ラインアウト等の高さを必要とする練習にも対応できるように、十分な天井高さを確保

木廊・木柵・トイレ



<デザインのポイント>

オリパラ材や宮崎県産の木材を効果的に活用し、周囲の景観との調和を表現

<機能のポイント>

木廊下の空間は夏の強い日差しや雨天時の雨避け等、多用途に機能

1. 構造コンセプト

大空間における無柱空間を確保

クラブハウスには大スパン架構が可能な鉄骨造を採用することで、ジムエリアに無柱空間を確保します。また室内練習場においても鉄骨造を採用し、トラス梁を用いることで大スパン架構を実現します。これにより自由度の高い空間を創出します。

県産材・オリパラ材の活用

クラブハウス木廊、管理棟、トイレ棟には、宮崎県産木材を活用し、県産材の活用をPRします。また木廊の柱・梁部分にはオリンピックパラリンピック選手村ビレッジプラザで使用された、レガシー材を構造材として活用します。

2. 耐震性能目標

耐震性能目標の考え方

建築基準法では中地震時（震度5弱程度）は、建物が損傷しないことを目標として定めています。また大地震時（震度6強程度）は、人命を守ることを目標とし、建物の損傷は許容するが倒壊しないことを目標として定めています。

国土交通省大臣官房庁営繕部整備課監修の『官庁施設の総合耐震・対津波計画基準』では、耐震性能の分類が提示されています。本計画ではこの基準を踏まえ、耐震性能目標・保有すべき性能を勘案して耐震性能の分類を決定します。

■本建物の耐震性能目標

本建物の耐震性能目標を下記の通り設定します。

- 地震地域係数：0.9
- 非構造部材の耐震性能の分類：B類
- 構造体の耐震性能の分類：Ⅲ類（重要度係数1.0）
- 設備の耐震性能の分類：乙類

3. 耐風性能目標

耐風性能目標の考え方

国土交通省大臣官房庁営繕部整備課監修の『官庁施設の基本的性能基準』では、耐風性能の分類が提示されています。本計画ではこの基準を踏まえ、耐風性能目標・保有すべき性能を勘案して耐風性能の分類を決定します。

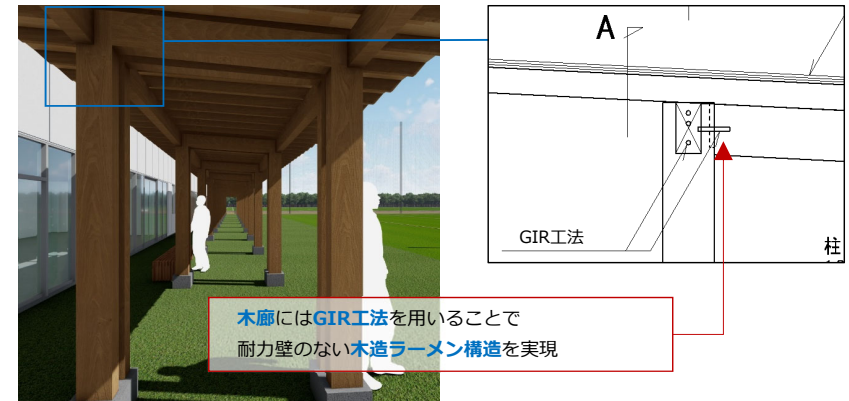
■本建物の耐風性能目標

本建物の耐風性能目標を下記の通り設定します。

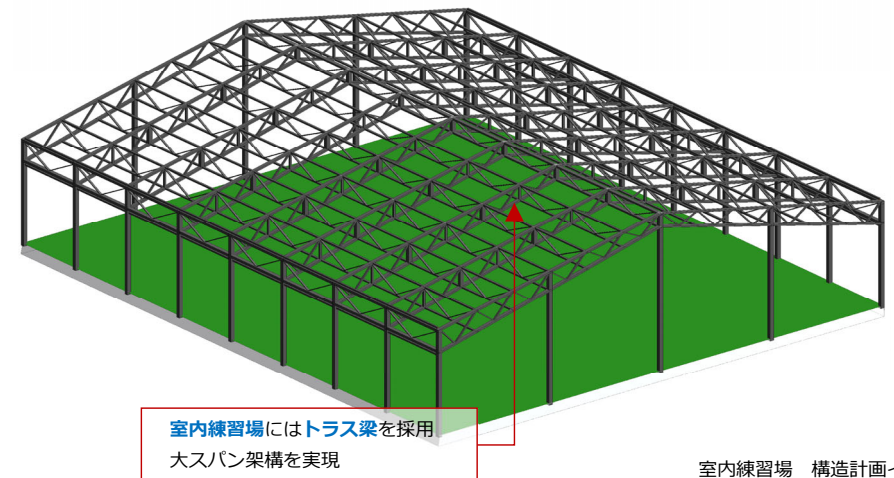
- 基準風速：36m/s
- 地表面粗度区分：Ⅲ
- 構造体、非構造部材、設備の耐風性能の分類：Ⅲ類（風圧力の割増しなし）



クラブハウス 構造計画イメージ図



木廊 構造計画イメージ図



室内練習場 構造計画イメージ図

機械設備のコンセプト

- ①既存のインフラ設備を考慮しながら、省エネに配慮した、効果的で経済的な設備計画とする。
- ②新型コロナウイルス等感染症対策に留意した設備計画とする。（十分な換気量、非接触型の機器選定等）
- ③すべてのアスリートが快適に利用できる施設とする。（高温・臭気対策など）
- ④施設の不定期運用に配慮した設備計画とする。
- ⑤海岸からの距離が近く、塩害を受ける恐れが高いため、屋外へ設ける主要機器は重耐塩害仕様とする。
- ⑥省エネ性能目標 BEI \leq 0.50 とする。

■給水設備計画

- ・建物用給水とグラウンド散水用給水は使用頻度、使用量及び衛生面を考慮して異なる給水方式とする
- ・建物用給水は、直圧方式とし、市水本管より100φで引き込み各所に給水する。
- ・グラウンド散水用給水は、上水利用とし、屋外貯水槽に貯留後、加圧給水ポンプにて、グラウンド散水設備に供給する。

■排水通気設備計画

- ・建物排水は、生活排水（汚水・雑排水）、雨水排水（建築工事）の2系統とし、重力式排水にて建物外へ排出する。生活排水（汚水・雑排水）は敷地南西側の既設公共雨水枡を介して下水道本管へ放流する。
- ・通気は、伸長通気方式とする。

■給湯設備計画

- ・使用用途、使用頻度、出湯量を考慮して給湯方式を下記で計画する。
 - 【シャワールーム(クラブハウス)】：中央給湯方式（ガス業務用給湯器マルチシステム）
設置場所：屋外壁掛型
 - 【ミーティングルーム(クラブハウス)】：局所給湯方式(貯湯式電気温水器20L（飲雑両用型）)
 - 【休憩スペース(管理棟)】：局所給湯方式（貯湯式電気温水器20L（飲雑両用型）)
- ・敷地内屋外にプロパンガスポンプ（バルク）を設置の上、必要各所へ供給する。

■空調設備計画概要

- ・経済性、制御性、スペース効率及び保守性を考慮して、電気式個別分散空調方式とする。
- ・空調方式は、空冷ヒートポンプパッケージエアコン方式（冷暖切替型、高効率タイプ）とする。
- ・クラブハウスの室内機は高濃度粒子イオン発生装置及び人感センサーを搭載したもの、また全熱交換機と連動制御できるものとする。
- ・室用途、利用時間及び負荷特性を考慮して、室外機ゾーニング（系統分け）を行う。
- ・沿岸部から凡そ500m程度の距離にあるため、空調室外機は重耐塩害仕様とする。
- ・熱中症対策や快適な環境によるトレーニング効率の向上を考慮し、ジムエリアについても空調機を設置する計画とする。

■換気設備計画概要

- ・建築基準法等関連法規に準拠した計画とし、湿気、臭気、熱、有害ガスの排出や新鮮外気の供給を目的に換気設備を計画する。
- ・各室個別換気方式とし、各室にて給排気を行う。
- ・各室の換気量については、外気CO2濃度測定値（560ppm）も勘案し決定する。

電気設備のコンセプト

- ①安全快適で高品質な環境を維持する（光環境・通信環境）。
- ②環境影響に対する関連法規の基準を満足するとともに、省エネルギーおよび環境に配慮した設備計画とする。
- ③海岸からの距離が近く、塩害を受ける恐れが高いため、屋外へ設ける主要機器は重耐塩害仕様とする。

■インフラ計画

- ・受電方式は高圧1回線受電とする。
- ・西側敷地付近に自立型高圧開閉器盤を設置し、屋外キュービクルまで地中埋設にて高圧幹線を敷設する。

■受変電設備

- ・外構に屋外キュービクル式受変電設備（重耐塩害仕様）を設置し、各建屋及び外構負荷へ給電。変圧器は油入変圧器（トップランナー2014）とする。
- ・想定トランス容量
 - 電灯トランス：100kVA×2台（用途：各建屋電灯コンセント、グラウンド照明など）
 - 動力トランス：150kVA×1台（用途：各建屋空調、屋内消火栓及び散水用ポンプなど）

■幹線設備

- ・一般電灯：単相3線200/100V CV・CVTケーブル
- ・一般動力：三相3線200V CV・CVTケーブル
- ・非常動力：三相3線200V FP・FPCケーブル

■照明設備

- ・環境配慮型照明器具（グリーン購入法判断基準適合品）を原則採用とし、電力消費量とCO2の削減を図る。
- ・外構照明は夜間の安全と景観に配慮した照明計画とし、駐車場にポール灯、通路部に庭園灯を設置。
- ・クラブハウス内は個別スイッチ、便所・給湯室は人感センサーによる点滅とする。
- ・室内練習場照明は昼光利用による省エネルギーを考慮して、無線通信対応の明るさセンサーを設置。また、現地にて入切・調光操作可能、管理棟にて入切可能な計画とする。
- ・高天井器具はLED器具を採用することで電球交換不要とし、器具寿命により交換する計画とする。

■構内情報通信網設備

- ・管理棟にラックを設置し、ONU（通信キャリア支給）・HUB等を搭載する。クラブハウス、室内練習場、グラウンドにHUB等を設置し、各所へLAN配線を行う。
- ・クラブハウス、屋内練習場、グラウンドにてWi-Fiの利用が可能なよう無線アクセスポイントを設置する。

■拡声設備

- ・館内放送設備は、クラブハウス、室内練習場、各グラウンド毎に放送区域を区別して、BGMなどの放送が可能、またグラウンドについては現地からの個別放送が可能な構成とする。

■誘導支援設備

- ・多機能トイレ（クラブハウス2箇所、外構2箇所）に非常呼出ボタン、表示灯及び復旧ボタンを設置し、管理棟に呼出表示器を設置する。

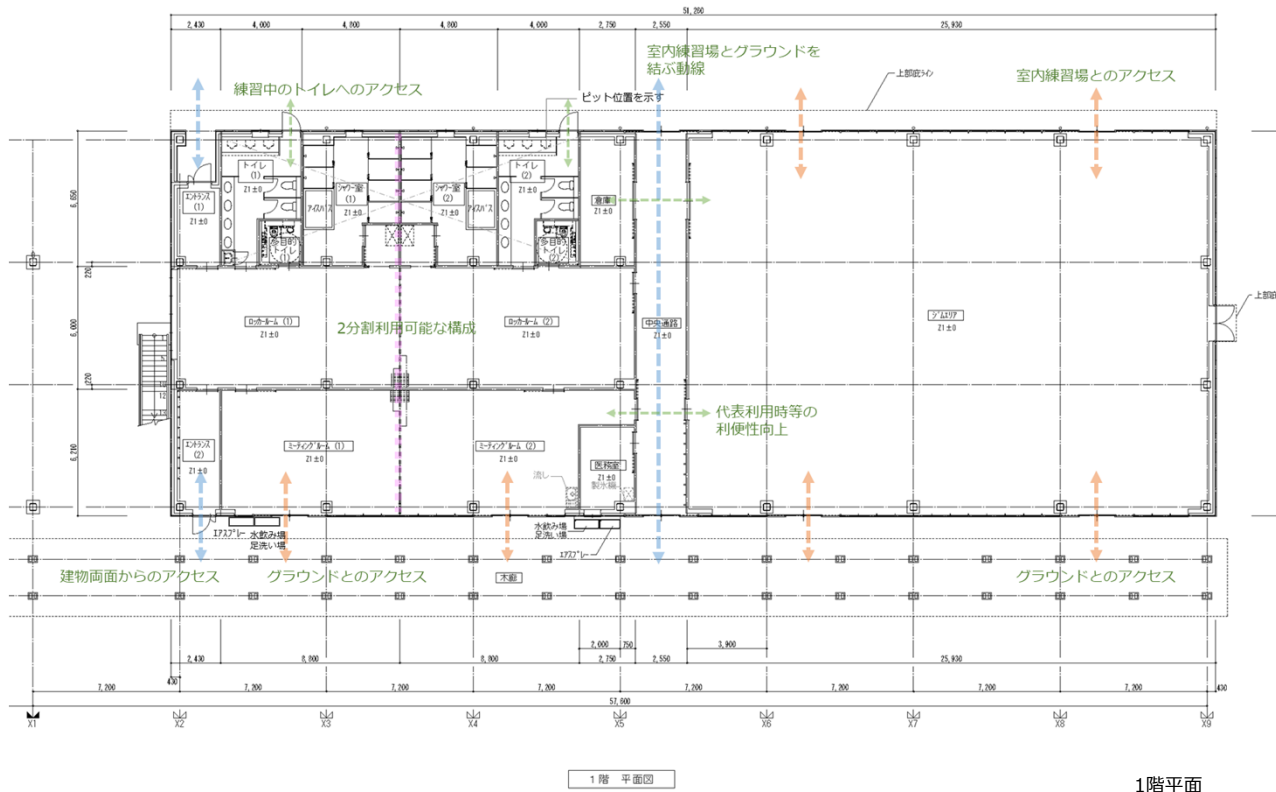
■非常照明・誘導灯設備

- ・消防法、建築基準法に準拠して、非常照明及び誘導灯を設置する。

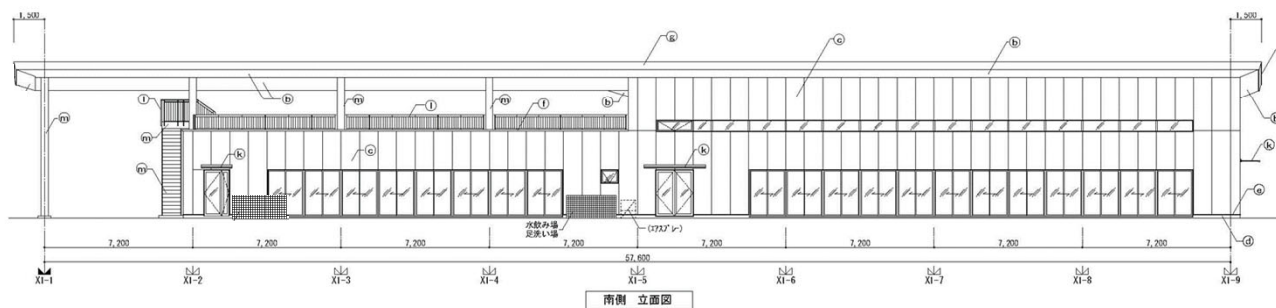
■自動火災報知設備

- ・消防法に準拠して設置し、P型1級受信機を管理棟に設置し、クラブハウス及び屋内練習場に主として煙感知器、地区音響装置、表示灯、発信機を設置する。

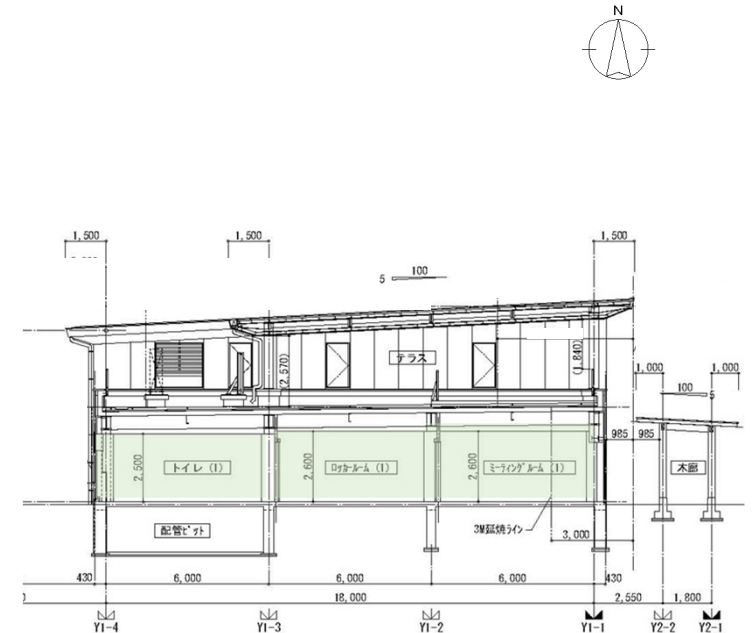
■クラブハウス棟イメージ図



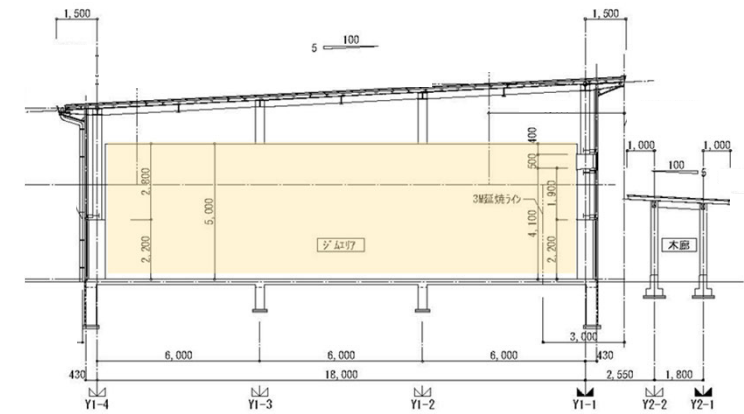
1階平面



南立面

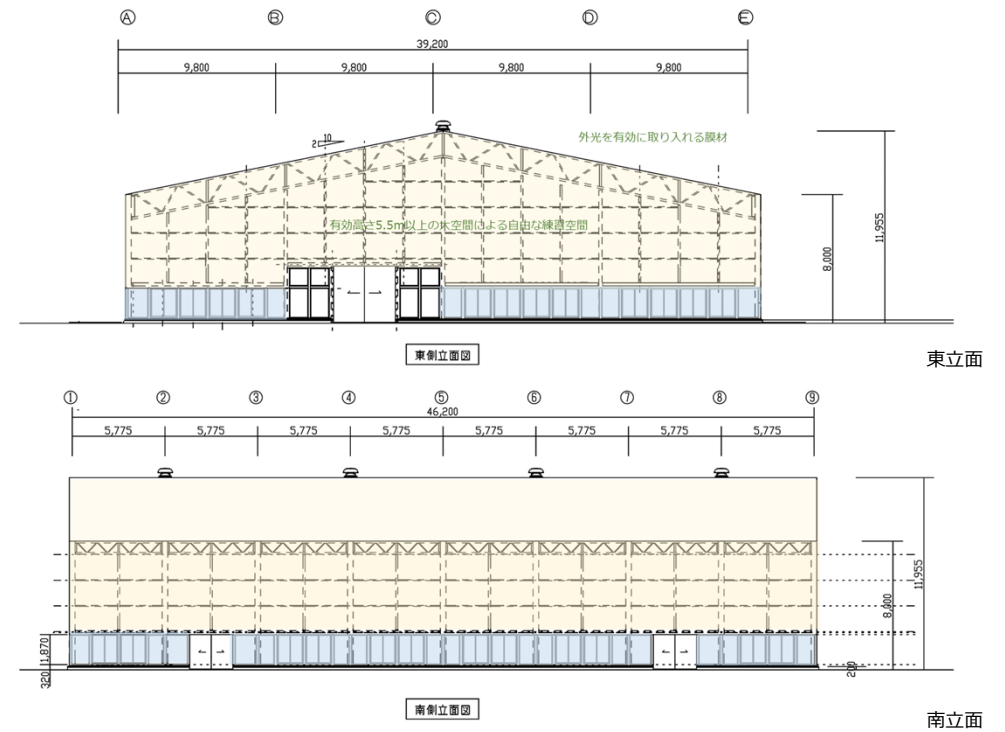
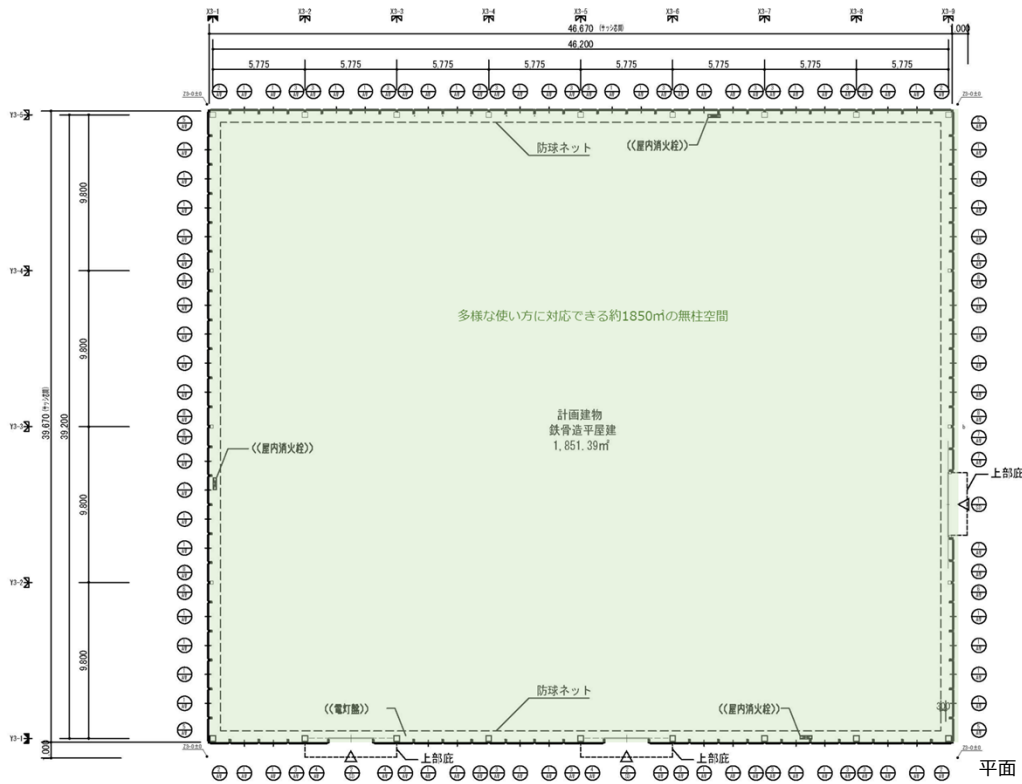


西側断面

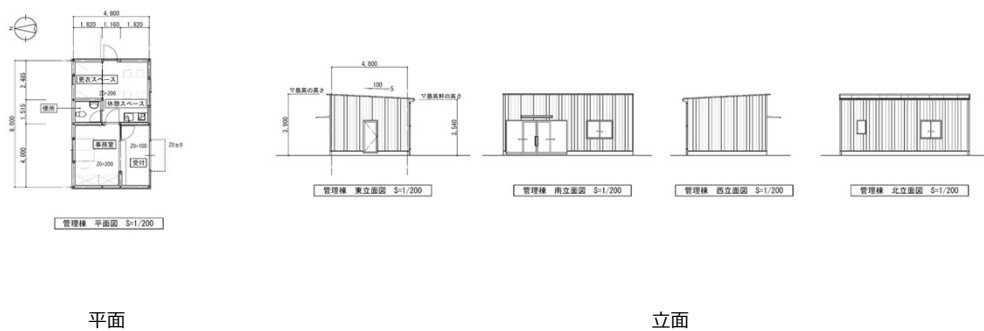


東側断面

■室内練習場棟イメージ図



■管理棟イメージ図



■トイレ棟イメージ図

